

開講日	2011年春期 水曜日 18:30-20:00	講義場所	研究棟11階講義室B
コーディネーター	名古屋市立大学大学院医学研究科 麻酔・危機管理医学教授 祖父江 和哉		

科目概要 および 期待される 成果	【概要】 災害や急性期医療に対応する知識や様々なスキルについて講義及び体験型実習形式で学びます。
	【期待される成果】 災害や急性期医療の現場において、活躍することができるスキルを向上し、実践できるようになることを目標とします。また、スキルのみでなく、災害時の特殊な状況における医療体制について理解し、円滑な医療が提供できるようになることを目指します。
目標とする 資格	

サブカテゴリ	No	タイトル	講義概要	開講日	講師(所属)
	1	心肺蘇生法の基本	心肺停止患者における蘇生の基本となる一次救命処置(BLS)および二次救命処置(ACLS)の位置づけやアルゴリズムなどを講義を通して学びます。	6月1日	特任助教 三宅健太郎 名古屋市立大学医学研究科 地域救急医療学
	2	思いだそう！一次救命処置とAED	成人に対する一次救命処置(BLS)として心肺蘇生法の基本手技(CPR)と自動体外式除細動器(AED)の使用法の実際を、マネキンを使って体験学習します。	6月8日	副センター長 増田和彦 名古屋市立大学病院 臨床シミュレーションセンター
	3	やってみよう！除細動器の使用法(体外式ペーシングを含む)	除細動(電気ショック)の適応及び除細動器の実際の使用法などをマネキンを使って体験学習します。	6月15日	副部長 伊藤彰師 名古屋市立大学病院 集中治療部
	4	やってみよう！緊急気道管理法	用手及び器具(ラリンゲルマスク等)を使った気道確保・管理法や窒息傷病者に対する緊急処置を体験学習します。	6月22日	センター長 笹野 寛 名古屋市立大学病院 臨床シミュレーションセンター
	5	災害医療総論	災害時の特殊な医療体制や考え方等を講義形式で学びます。	6月29日	副センター長 服部友紀 名古屋市立大学病院 救命救急センター
	6	災害時医療体制～様々な立場からの提言～	DMAT研修や被災地への医療救護活動を通じて、災害時の特殊な医療体制における多職種のそれぞれの役割について話します。	7月6日	看護師 杉本幸子 1 薬剤師 矢崎蓉子 2 名古屋市立大学病院 1看護部、2薬剤部
	7	やってみよう！トリアージ	災害時に必要なトリアージについて実習形式で学びます。	7月13日	看護師 清水真名美、阿部真由美 名古屋市立大学病院 看護部
	8	外傷の初期対応(整形外科)	整形外科的な外傷への初期対応を学びます。	7月20日	助教 岡本秀貴 名古屋市立大学医学研究科 整形外科学
	9	外傷の初期対応(腹部外傷)	腹部外傷への初期対応を学びます。	7月27日	講師 松尾洋一 名古屋市立大学医学研究科 消化器外科学
	10	小児の救急初期対応	小児に対する救急処置を学びます。	8月3日	病院教授 加藤稻子 名古屋市立大学医学研究科 新生児・小児医学
	11	外傷の初期対応(脳神経)	中枢神経外傷への初期対応を学びます。	8月10日	助教 大野貴之 名古屋市立大学病院 救命救急センター
	12	救急で診る感染症	救急外来で対応を要する感染症を学びます。	8月24日	助教 宮津光範 名古屋市立大学病院 集中治療部
	13	災害時の特殊な合併症	重症化する災害時の合併症(クラッシュ症候群や深部静脈血栓症など)について学びます。	8月31日	特任助教 三宅健太郎 名古屋市立大学医学研究科 地域救急医療学
	14	災害時の精神科医の役割	災害時には、身体的なケアだけでなく、精神的なケアが非常に重要です。精神的ケアについて学びます。	9月7日	所長 新垣敬子 名古屋市精神保健センター
	15	災害時の内科医療(内分泌疾患をどう診ていくのか?)	東日本大震災発生から2週間後の被災地での医療救護活動を通じて慢性期医療について話します	9月14日	講師 今枝憲郎 名古屋市立大学医学研究科 消化器・代謝内科学